様式３（2019.05改）

作成日　令和　元年　9月　28日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397500063
事業所名	グループホーム　あいる弥富

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	ホームの近隣に住宅がないこともあり、地域の方との日常的な交流が難しい状況ではあるが、近隣の幼稚園とは運動会を通じた交流をつくる取り組みが行われている。地域の町内会に入り、回覧板が回覧される等、地域の方との交流の機会はつくられている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	会議については、ホームの近隣にある他のグループホームと開催日時を調整しながら開催しており、毎回の会議に市職員の参加が得られている。また、幼稚園の園長の参加もあり、交流の機会にもつながっている。 運営推進会議の開催が中断した時期があったことで、過去1年間では6回未満の開催である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市担当部署とは、毎回の運営推進会議を通じた情報交換の他にも、市内の介護事業所が集まる連絡会を通じた情報交換の機会がつくられている。また、地域包括支援センターとも、困難事例に関する連携等、定期的及び随時の交流が行われている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホームで行われている行事の際には、家族にも案内を行っており、家族との交流の機会がつくられている。家族からの要望等には、管理者の他にも運営法人でも対応する体制がつくられている。また、毎月のホーム便りの作成が始められている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	×